

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22 年 11 月 20 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470204169		
法人名	株式会社 ひょうま		
事業所名	グループホームひなたぼっこ大町		
所在地	〒731-0124 広島市安佐南区大町東三丁目1番18号 ハートランド大町1F (電話) (082) 831-8885		
自己評価作成日	平成22年11月18日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先UR	http://www.hksiks.jp/kaigosp/infomationPublic.do?JCD=3470204169&SCD=320
------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成22年12月15日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>(ユニット1) 入居者様が大事にしてきた価値観や生き方・習慣等にスタッフが合わせ、心を寄せていく支援。入居者様が笑顔でいきいきと、落ち着いた生活を心地良い環境の中で送っていただく支援。その為に、各スタッフのケアレベルの底上げ・均質化に取り組み、実践に努めている。入居者様・ご家族への、今後更なる支援の充実の為、全スタッフの意識統一を図り、実践に繋げて行きたい。</p> <p>(ユニット2) 利用者本人、ご家族の満足度を一番に考えたケアができるよう職員全員が考え、ケアに繋げている。それと同じくらいに、職員が働きやすく、意見を言い合え各々が向上していけるような職場作りを心掛けている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>ひなたぼっこ大町は、(株)ひょうまが運営するグループホームの1つとして、平成15年に開設された事業所で、母体の事業所の理念に沿ってホーム独自の行動目標を定め、全職員が目標達成に努力されている。特に、入居者一人ひとりが笑顔でいきいきと暮らしていける支援に力をいれており、地域にある農園と連携し、春には花見をし野菜を作り秋には収穫等、四季を通じて農園での作業を楽しむなど、家族からも信頼されている。また、地域の老人会や子ども会との交流も積極的に行われており、地域との関係が非常に良好に感じられた。さらに、職員のチームワークも良く、日々の中で何でも話し合える環境が作られている。</p>

ユニット I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ミーティング、又は日々の現場において、スタッフ間で話し合い、確認し合い、実践に活かしている。	ひなたぼっこの理念を基に、具体的な実践目標を掲げ、その実現に向けて全職員で取り組んでおり、月1回のミーティングや日々の実践の中で、理念の確認と具体的なケアについての意見統一を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	年2回、子供会との交流。他に、行事（清掃・運動会・祭り・避難訓練）に参加。関わりを持ち、交流も深まっている。	町内会の一員として清掃や草取り、祭り等の行事に積極的に参加する等し、日常的に交流が来ている。町内会長の協力支援の基で、地域の子供会・老人会との繋がりも強く、また消防避難訓練など地域の方の協力のもとで実施されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症の正しい知識や認知症の人への対応等、認知症の人や高齢者が、地域で安心して暮らせる一役を担える取り組みを検討している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	町内会・子供会との交流が定例化され、親交が深まった。地域への助言・相談をお互いに行い、ケアサービスの向上に活かしている。	運営推進会議は定期的開催され、地域包括・町内会長・行政担当者などの出席もあり、双方向の意見交換がなされ、日々のサービス向上に活かしているが、今後はご家族の出席も頂く等し、一層有意義な会議になる事を期待する。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	電話相談等、情報交換を行いながら、関係構築に取り組んでいる。	行政担当者の運営会議への出席もあり、日頃から連携も出来ており、情報の提供やアドバイスを頂く等協力関係が築かれている。	

ユニット I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>外部・内部研修を通じ、現場・ミーティングにおいて、周知・確認している。よりよい実践に向け、検討を重ねている。</p>	<p>身体拘束・虐待防止の徹底などについて、外部・内部の研修を通じ全職員が「禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解している。また、身体拘束をしないケアの実践に、職員で連携し取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修の機会があれば参加し、学んだことをミーティングで話し合い、確認し合い、各自振り返りすることにより、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修へ参加の機会を作り、またミーティングで伝達を行うことにより、職員へ制度の周知を図り、機会があれば活用の取り組みを進めていきたい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居者・家族の話を伺い、重要事項・医療体制・ホームで対応できる事・できない事等の説明を十分に行い、理解を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>よりよいケアに活かせるよう、現場・ミーティングで確認し、実践につながるよう取り組んでいる。</p>	<p>年に1回家族アンケートを実施し、家族の意見・要望等を把握され、また家族の面会時や毎月の便りの送付時に、入居者の方の現状報告と合わせ、意見・要望等を聴く等し運営に反映されている。</p>	

ユニット I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	個別面談・ミーティング・業務の合間に意見・提案を聴き、反映できるよう取り組んでいる。	個別面談やミーティングの中で、職員の意見や提案を聞くようにし、それらを運営に反映させている。また日頃からコミュニケーションを図るよう心がけ、問いかけたり、聞き出したりする等工夫がなされている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	面談にて職員個々の意見を聞く機会を設けている 職員の資格取得を支援している		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	なるべく誰もが外部研修に参加できる勤務体制を整えるよう考慮している また、毎月の職員会議の機会に相互の内部研修を行うよう指示している		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	他事業所との交流や意見交換、勉強会等へ参加できるよう、勤務体制のうえで配慮し、サービスの見直しの機会を得るようにしている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	入居時において入居者様と信頼関係を築くことの重要性を職員へ周知しており、皆が一丸となって取り組んでいる。		

ユニット I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	上記同様。家族へ連絡・報告をこまめに行っている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	不安な事・困っている事を受け止め、話し合いを重ね 必要なサービスにつながる		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	一緒に過ごす時間を大事にしており、良い関係を築いている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	本人様にとって家族の協力の重要性を理解していただいております、共に支えて行く事を共有している。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	ホームに入居後もできる限り交流を維持していただき、更に継続するよう支援している。	地域に暮らす馴染みの知人・友人などに会いに行ったり、訪問してもらったり、繋がりを継続できる支援をしている。また、入居前から利用している美容院に行き続けている入居者がいるなど、一人ひとりの生活習慣を大切にしている。	

ユニット I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者同士の関係を共有し、現場・ミーティングにおいて、調整・対応策を検討・実践している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	転居先への訪問。ご家族からの近況を伺っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関りの中で把握し、共有できるよう努めている。家族からの情報も得、対応を検討している。	職員一人ひとりが、入居者さんとの日々の繋がりの中で意向の把握に努めている。また、家族からの情報も得ながら本人本位の介護に努力されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人・家族から十分な情報が得られるよう取り組んでいる。その都度、本人・家族に確認し、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	現場・ミーティングで各スタッフの気づきを共有し、全体像の把握に努めている。		

ユニット I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人・家族の意向を聴き、スタッフの気づき、主治医の意見を反映させた計画を作成している。</p>	<p>入居者の視点にたって地域でその人らしく暮らし続けるために、家族や関係者と本人本位の視点で話し合い、気づき、意見等を反映した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別に記録し、ミーティングにおいて、個別カンファレンスを行い、共有・検討・実践している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入居者の状態により、訪問理容等、前向きに取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>町内会行事への参加。区民文化センターの催しへの見学。消防署・地域の方も交えた避難訓練を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人・家族の意向を重視し、支援している。</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。必要に応じて受診の付き添いや、ご家族とも同行する等適切な医療を受けられるように支援している。</p>	

ユニット I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	ホームの非常勤看護師以外にも、主治医クリニックの看護師、又は、訪問看護師の協力を得ながら、支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報を提供し、見舞い時等に意見交換している。家族への報告。医療機関への要望も、伝えている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に説明し、了承を得ている。主治医との連携も行い、必要に応じ、主治医から家族への説明もなされている。	本人や家族の意向を踏まえ、協力医、職員等関係者が連携を図り、希望する最期が迎えられるように、日頃から意思を確認しながら取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	2年に1回、救命訓練を行っている。急変・事故発生時の対応マニュアルも周知し、確認している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回、避難訓練を実施（1回は消防署員立会い）。町内会長を通じ、地域の方の参加を促している。	定期的に避難防災訓練を地域の方々の参加・協力を得ながら実施されている。3月を目途にスプリンクラーの設置を行う等防災意識は高く、地域の協力も受けられる体勢は確立出来ている。今後、更に運営推進会議などを通じ、夜間における避難体制の確立が望まれます。	

ユニット I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	尊厳に配慮した対応は、常に心掛けている。現場・ミーティングにおいて、確認している。	日頃から、全職員が入居者の意思を尊重し、言葉遣いにも配慮したさりげないケアを心がけている。また、ミーティングにおいて誇りやプライバシー確保について確認し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々の生活に於いて見極めに努め、個別支援に取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	できる限り、本人の気持ちを尊重した支援を心掛けているが、スタッフの人数・入居者の状態も有り、難しい事もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	可能な方は、本人が行い、他の方は、意向に添うように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備が自分で可能な方、また好きな方へ声をかけ、可能な時にできるだけ一緒に行くよう取り組んでいる。	出来るだけ入居者の希望を聴き、食事の献立に反映している。また、食材の購入（季節によっては、ホームの畑で作った野菜を収穫）・食事作り・盛り付け・後片付け等も入居者と共に行い、職員と入居者が同じテーブルを囲んで楽しく食事ができるよう工夫されている。	

ユニット I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>本人の要望を中心に、主治医の意見も含め、一人ひとりに応じた支援をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>定期的に、声かけ・介助により行っている。口腔ケアの往診も、必要な方には、行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレでの排泄の重要性をスタッフ間で共有し、状態に応じた対応を行っている。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを全職員が理解し、情報を共有し、入居者個々の排泄の自立支援に努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄表を活用し、日々確認している。主治医相談の元、服薬調整も行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>希望に添えるよう努めているが、身体・精神状態の配慮もある。</p>	<p>基本的には、入浴日は特に定めていない、入居者の生活習慣や希望、その日の体調にあわせて入浴支援を行っている。</p>	

ユニット I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>日中の離床は促しているが、体調や状況に応じて、休息を促している。精神状態により、医師相談の元、眠剤を服用している方もいる。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>主治医との連携は、欠かさず行っている。現場・ミーティングにおいて、対応を検討している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりに合った役割（買物・調理の下準備・洗濯干し・洗濯畳み・テーブル拭き・食器の片付け等）を持っていただけるよう、見極め取り組んでいる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>体調・天候に配慮し、買物・ドライブ・ひなたぼっこ・散歩等に出る支援をしている。家族の協力を得る時もある。</p>	<p>入居者の体調や天候等に配慮しながら、買い物・散歩、近場の農園での楽しみ体験等、短時間でも戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、美術館や外食、祭事等の外出時にはご家族の参加・協力を得ながら積極的に支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>可能な方は、所持していただいている。</p>		

ユニット I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人・家族の意向に添った、対応をしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節毎の飾り付け（一緒に作成）、物の設置を行っている。共用部の整理は、その都度見直している。	入居者の作品の展示や、入居者と職員で作った季節の飾りつけを行う等、生活感や季節感を取り入れる工夫をされ、お互いのくつろげる居場所作りに努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居室・ダイニング・廊下に、椅子・ソファを置き、自由に過ごしていただいている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人・家族の意向に添うよう、使用していただいている。	使い慣れた家具や生活用品・装飾品等が持ち込まれており、入居者一人ひとりが居心地良く過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	本人の状態を把握し、環境整備に努めている。状態変化時、その都度見直し・共有し、対応している。		

ユニット 2

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ミーティングで話し合い、ケアの統一を図っている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入り、町内の行事に積極的に参加している。子供会との交流も年2回ある。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方からの相談を受けた場合、その相談にのったり、必要に応じてアドバイスを行っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ホームでの取り組みの内容報告をし、意見をいただいている。また逆に事業所からの相談もさせてもらっている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	必要時には電話で相談したり、また運営推進会議時には直接お話している。		

ユニット 2

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	ミーティングや申し送り時等で、お一人お一人のその時々の状態を把握し、拘束をしないケアを行っている。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	職員にも周知する機会として、内部研修を行い、勉強している。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	必要性が今までなかった為、職員は理解していない。今後、外部研修へ参加し、また内部で研修を行うなど学ぶ為の機会を作るよう取り組んでいきたい。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	重要事項の説明、ホームで生活する上でのリスク、医療連携の体制などの説明を充分に行い契約を行っている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	月に1回お便りを送っている。面会時には細かな様子をお伝えし、また要望も言ってもらえるような雰囲気作りに努めている。その際の内容もミーティングや申し送り等で職員が共有できるようにしている。		

ユニット 2

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティング時にも意見を聞くが、日々の中でも個別に聞くよう心がけている。また言いやすい雰囲気作りにも気をつけている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	面談にて職員個々の意見を聞く機会を設けている 職員の資格取得を支援している		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	なるべく誰もが外部研修に参加できる勤務体制を整えるよう考慮している また、毎月の職員会議の機会に相互の内部研修を行うよう指示している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他事業所との交流や意見交換、勉強会等へ参加できるよう、勤務体制のうえで配慮し、サービスの見直しの機会を得るようにしている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居相談があった際は必ず本人に会って、心身の状態や思いを把握できるよう努めている。		

ユニット 2

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	現状をしっかり聞き、ご家族の求める要望や思いを正しく理解するようにし、よい関係を築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人、ご家族の求める必要なサービスができる限り提供できるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	人生の先輩であるという前提のもと、利用者に教えてもらうこともあったり、大家族のように協力し合える場面作りを心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時等、日々の細かな様子をお伝えし、またご家族の思いを聞き、本人を支える関係作りを心がけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	地域の美容室へ出かけている。		

ユニット 2

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事、おやつ時には職員が間に入り、良		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	許されれば、退居されたあとも面会に伺うことも行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の中で把握に努めている。困難な場合も本人本意で考え、ご家族からも情報を得、検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	その方への理解を深める為、ご家族から話を聞いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活のリズムを把握し、その方のできることでできないことを理解するよう努めている。		

ユニット 2

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>日々の中で、本人、ご家族の思いを聞き、ミーティング等で検討を行い、プランに反映させ作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別の記録ファイルに日々の状況を記録し、職員間で共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人、ご家族の状況に応じて、柔軟な対応をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の催し物へ積極的に参加している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>事業所の協力医のほか、訪問歯科、訪問看護等の利用をしている。また他医療機関（専門医）へは、ご家族に同行している。</p>		

ユニット 2

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	異常が見られる場合には看護職員に相談し、医療面についての対応の仕方への指示		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはサマリーによる情報提供をし、必要時には連絡を取り合っている。入院中には面会時または電話により、情報を得、早期にホームへ戻れるようアプローチしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	本人、ご家族の意向、事業所、協力医で話し合い支援している。状況や日々の中でご家族の意向、思いが変わることを十分に考慮し、柔軟な対応が取れるようにしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	2年に1回、救命救急講習を必須としている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	事業所全体で年2回、ユニットとしては随時、避難訓練をしている。地域との協力体制は、可能な限り、年2回の訓練に参加していただくか、また見学してもらえるよう運営推進会議等をお願いしている。		

ユニット 2

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	さりげない声掛けをし、本人のプライドを傷つけないケアをしている。個人情報の守秘について、その都度、職員へ周知している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	お一人お一人の言葉、表情を見極め、職員の押し付けにならないように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の状況をみながら本人の思うように過ごしてもらっているが、職員からの働きかけも多い。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	外出時など化粧をされたり、衣類を選んでもいただくようにしている。困難な場合は、職員が決めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	なるべく、その時々メニューは利用書と決めるよう努めている。ホームの畑で作った野菜を収穫、調理し、楽しみが持てるようにしている。		

ユニット 2

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>刻む、粥、むすび、ゼリーなど個別に提供している。ご家族の協力を得たり、事業所で対応して嗜好品の提供もしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>促しにより口腔ケアをしてもらっている。状態に合わせて介助をしたり、ガーゼを利用して行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表により誘導している。必要なパッド類もその都度検討している。体調不良時以外、日中はトイレでの排泄をしている。夜間も状態に合わせて、トイレ誘導、パッド交換している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取量が増えるよう努めている。寒天を使用してのゼリーを提供している。食物繊維の食事も提供している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴したい時間（TV番組等の関係）を考慮している。就寝前の希望等もあるが、現在は不可能である為、順番を最後にするなどの工夫をしている。</p>		

ユニット 2

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>日中の活動を増やせるよう努めている。夕方にかけての不安に対し、職員がゆっくり関わられるよう努めている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>処方綴りを作成し、職員全員が把握できるようにしている。個別に粉碎等を薬局へお願いし、確実な服薬ができるようにしている。処方に変更があった場合等は、服薬後の変化を把握し、その都度、主治医へ相談し、結果も職員へ周知している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>食事作り、縫い物、畑作業など、得意分野で力を発揮してもらえるようにしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>美術館や外食、ドライブなど、ご家族にも協力を得ながら支援している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>希望のある利用者には、現金を持っていたら、買物時には嗜好品（雑誌他）を購入してもらっている。</p>		

ユニット 2

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	現在、希望される方がいないが、年賀状等の支援をしていきたい。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	ユニット内の飾り付けなど、利用者と一緒に考えている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	ソファでゆっくりできるようにしている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	入居時、入居後、なるべく使い慣れた家具を持参していただくようにしている。家具の配置なども本人、ご家族で決めていただくようにしている。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	本人がどうすれば、自分でできるのかを考え、ミーティング等で検討し、自立できるようにしている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームひなたぼっこ・大町

作成日 平成 22 年 12 月 13 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の出席者が少なく、マンネリ化しているのではないかと懸念している。	幅広い意見を取り入れて、運営推進会議を充実させる。	会議内容に応じた参加者を招集する。	6ヶ月
2	11	内部研修が少ない	毎月、内部研修を実施する。	年間の研修計画を立てる	12ヶ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。